

トラノハナヒゲ

学名 *Rhynchospora rugosa* (Vahl) Gale subsp. *brownii* (Roem. et Schult.) T. Koyama

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

暖地植物でため池の池畔湿地に群生するが、生育地は極めて希で、群生地面積も狭い。近年、帰化植物が進出して生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	中津・宇佐低地
分布域	本州(近畿南部, 中国), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国, 旧世界の亜熱帯～熱帯
生育環境	低地の池畔湿地。
現 状	近年, 湿地にメリケンカルカヤ (<i>Andropogon virginicus</i>) が繁茂し, 生育地が攪乱されている。「別府湾沿岸域」の生育地は, 道路拡幅のため1974年に消滅した。
備 考	